

山口県教員採用試験

教職専門

令和7年度(2024年実施)

* 解答は、すべて「解答用紙」に記入すること。

1 以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。〔(1)アウ各2点、その他各1点〕

(1) 次の法令について、下のア～エの問いに答えよ。

教育基本法
第1条 教育は、(①)の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

学校教育法
第11条 校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に(②)を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

学校教育法施行規則
第25条 校長(学長を除く。)は、当該学校に在学する児童等について(③)を作成しなければならない。

著作権法
第35条 学校その他の教育機関(営利を目的として設置されているものを除く。)において教育を担任する者及び授業を受ける者は、その(④)における利用に供することを目的とする場合には、その必要と認められる限度において、公表された著作物を複製し、若しくは公衆送信(自動公衆送信の場合にあつては、送信可能化を含む。以下この条において同じ。)を行い、又は公表された著作物であつて公衆送信されるものを受信装置を用いて公に伝達することができる。ただし、当該著作物の種類及び用途並びに当該複製の部数及び当該複製、公衆送信又は伝達の態様に照らし著作権者の利益を不当に害することとなる場合は、この限りでない。

- ア 教育基本法について、(①)に入る適切な語句を答えよ。
イ 学校教育法について、(②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 罰則	2 訓告	3 懲戒	4 処分
----	------	------	------	------

- ウ 学校教育法施行規則について、(③)に入る適切な語句を答えよ。
エ 著作権法について、(④)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 授業の過程	2 教育活動	3 教育課程内	4 各教科の指導
----	---------	--------	---------	----------

(2) 次の法令について、下のア～エの問いに答えよ。

学校教育法施行規則
第48条 小学校には、設置者の定めるところにより、校長の職務の円滑な執行に資するため、(①)を置くことができる。

地方公務員法
第33条 職員は、その職の信用を傷つけ、又は職員の職全体の(②)となるような行為をしてはならない。

児童虐待の防止等に関する法律
第6条 児童虐待を受けたと思われる児童を発見した者は、速やかに、これを市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは(③)又は児童委員を介して市町村、都道府県の設置する福祉事務所若しくは(③)に通告しなければならない。

子どもの読書活動の推進に関する法律
第2条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、(④)を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

ア 学校教育法施行規則について、(①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 学校運営協議会	2 職員会議	3 副校長	4 主幹教諭
----	-----------	--------	-------	--------

イ 地方公務員法について、(②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 信用失墜	2 損失	3 不利益	4 不名誉
----	--------	------	-------	-------

ウ 児童虐待の防止等に関する法律について、(③)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 所轄警察署	2 教育委員会	3 児童相談所	4 家庭裁判所
----	---------	---------	---------	---------

エ 子どもの読書活動の推進に関する法律について、(④)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 判断力	2 思考力	3 発想力	4 表現力
----	-------	-------	-------	-------

2 次の(1)～(5)の各問いに答えよ。〔(1)(5)各2点、その他各1点〕

(1) 次の文は、ある学者の経歴及び業績を紹介したものである。その人物名を答えよ。

チェコの教育家。チェコ兄弟教団の附属学校の教師及び牧師として活躍した。30年戦争によって荒廃した祖国に直面し、人類の破滅を救うためには青少年を正しく教育するより有効な方法はほかにないと考えた。そして、「すべての人にすべての事柄を教授する」ことを『大教授学』で主張し、教育の機会均等の理念を先駆的に示した。また、『世界図絵』は世界最初の挿絵入り教科書として知られている。

(2) 次の文は、ある学習法について説明したものである。その学習方法を提唱した人物名を下の語群から選び、記号で答えよ。

学習者自身が行う発見を通して、自らの力で知識や問題解決の方法を習得する学習の方法。この学習法の利点としては、発見的方法を学ぶことができるとともに、発見による知的興奮が報酬となってさらなる学習を促進することなどがあげられる。

語群	1 キルパトリック	2 ソクラテス	3 ユング	4 ブルーナー
----	-----------	---------	-------	---------

(3) 次の文は、「教育振興基本計画」（令和5年6月 閣議決定）の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

(5つの基本的な方針)
○ 本計画においては、上述の総括的な基本方針の下、以下の5つの基本的な方針を定める。
① グローバル化する社会の（ ① ）な発展に向けて学び続ける人材の育成
② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す（ ② ）社会の実現に向けた教育の推進
③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
④ 教育デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進
⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

ア （ ① ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 恒久的	2 革新的	3 持続的	4 外向的
----	-------	-------	-------	-------

イ （ ② ）に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 バリアフリー	2 共生	3 多様性のある	4 個性が尊重される
----	----------	------	----------	------------

(4) 次の文のア～ウに最も関連の深い語句を下の語群からそれぞれ選び、記号で答えよ。

ア 中学生の時期にみられ、同じ興味、考え、活動、言葉が共有されるグループで、友達に合わせることへの圧力が著しく高くなるという特徴を持つとされるもの。

語群	1 ギャング・グループ	2 ピア・グループ
	3 チャム・グループ	4 ジグソーグループ

イ ドゥエックが見い出した、子どもに解決不可能な課題を課し続けると、その後の解決可能な課題に対する子どもの取り組みも低下する現象。

語群	1 反動形成	2 学習性無力感
	3 燃えつき症候群	4 外発的動機づけ

ウ 多様な個人の価値観や考え方が引き出されるゲーム的な要素の話し合いから子ども同士の気持ちの触れ合いを通して、お互いを理解したり、自分自身に気づいたりすることを目的とした予防教育や心理教育。

語群	1 コンサルテーション	2 アサーショントレーニング
	3 メンタルコーチング	4 構成的グループ・エンカウンター

(5) 次の文は、ある人物の説明文である。その人物名を答えよ。

人間の欲求を「生理的欲求」と「安全への欲求」、「所属と愛への欲求」、「承認への欲求」、「自己実現への欲求」の5つに分けたうえで、それらの欲求の関係性をピラミッド型の階層として表した研究者。

3 次の(1)～(4)の各問いに答えよ。〔(1)アイ各2点、その他各1点〕

(1) 次の文は、「生徒指導提要」（文部科学省 令和4年12月）の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

児童生徒が自己指導能力を獲得するには、授業場面で自らの意見を述べる、観察・実験・調べ学習等を通じて自己の仮説を検証してレポートする等、自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験が何より重要です。児童生徒の（ ① ）の場を広げていくために、学習指導要領が示す「（ ② ）」の実現に向けた授業改善を進めていくことが求められます。

ア （ ① ）に入る適切な語句を答えよ。

イ （ ② ）に入る適切な語句を答えよ。

(2) 次の文は、「不登校重大事態に係る調査の指針」(文部科学省初等中等教育局 平成28年3月)の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

ア 基本姿勢
対象児童生徒からの聴取に際しては、徹底して(①)ということを教職員が言葉と態度で示し、いじめを行った児童生徒に対しては、その行動の(②)に目を向けるなど教育的配慮の下で指導を行うことを基本とする。

ア (①)に入る適切な語句を次の語群より選び、記号で答えよ。

語群	1 傾聴する	2 支持する	3 守り通す	4 助ける
----	--------	--------	--------	-------

イ (②)に入る適切な語句を次の語群より選び、記号で答えよ。

語群	1 影響	2 背景	3 動機	4 意味
----	------	------	------	------

(3) 次の文は、「第3次学校安全の推進に関する計画」(文部科学省総合教育政策局 令和4年3月)の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

全ての学校において、学校安全計画を策定し、これを実施しなければならないとされており、学校安全計画には、当該学校の施設及び設備の(①)、通学を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修、その他学校における安全に関する事項を記載することとされている。また、その立案に当たっては、(②)等が参与することとされている。

ア (①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 補修	2 管理	3 見回り	4 安全点検
----	------	------	-------	--------

イ (②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 管理主事	2 学校医	3 交通安全協会	4 学校運営協議会
----	--------	-------	----------	-----------

(4) 次の文は、「学校事故対応に関する指針【改訂版】」(文部科学省 令和6年3月)の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

○ 応急手当を実施する際には、以下の点に留意する。
・ 管理職への報告よりも児童生徒等の救命処置を優先する。
・ 救命処置において、意識や呼吸の有無が「分からない」場合は、呼吸と思えた状況が死戦期呼吸である可能性にも留意して、意識や呼吸がない場合と同様の対応とし、速やかに心肺蘇生と(①)を実施する。
・ 救急車を手配するために119番通報をすると、消防の通信司令員から電話口で指示や指導が受けられるため、心停止かどうかの判断に迷う場合や、胸骨圧迫のやり方などが分からない場合は、(②)指示を仰ぐようにする。

ア (①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 人工呼吸	2 止血	3 AED装着	4 患部固定
----	--------	------	---------	--------

イ (②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 丁寧に	2 慎重に	3 復唱しながら	4 遠慮することなく
----	-------	-------	----------	------------

4 次の(1)～(3)の各問いに答えよ。[各1点]

(1) 次の文は、「障害者基本法」(平成23年改正)の条文である。下の問いに答えなさい。

第2条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。
1 障害者 身体障害、(①)障害、精神障害(発達障害を含む。)その他の心身の機能の障害(以下「障害」と総称する。)がある者であつて、障害及び社会的障壁により継続的に日常生活又は社会生活に相当な制限を受ける状態にあるものをいう。

(①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 情緒	2 聴覚	3 知的	4 視覚
----	------	------	------	------

(2) 次の文は、「発達障害者支援法」(平成28年改正)の条文である。下のア、イの各問いに答えなさい。

第8条 国及び地方公共団体は、発達障害児(十八歳以上の発達障害者であつて高等学校、中等教育学校及び特別支援学校並びに専修学校の高等課程に在学する者を含む。以下この項において同じ。)が、その年齢及び能力に応じ、かつ、その特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、可能な限り発達障害児が発達障害児でない児童と共に教育を受けられるよう配慮しつつ、適切な教育的支援を行うこと、個別の(①)計画の作成(教育に関する業務を行う関係機関と医療、保健、福祉、労働等に関する業務を行う関係機関及び民間団体との連携の下に行う個別の長期的な支援に関する計画の作成をいう。)及び個別の指導に関する計画の作成の推進、(②)等のための対策の推進その他の支援体制の整備を行うことその他必要な措置を講じるものとする。

ア (①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 教育支援	2 学習支援	3 生活支援	4 自立支援
----	--------	--------	--------	--------

イ (②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 差別の解消	2 合理的配慮	3 障壁の除去	4 いじめの防止
----	---------	---------	---------	----------

(3) 次の文は、「障害のある子供の教育支援の手引 ～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 令和3年6月)の一部である。下のア、イの各問いに答えよ。

子供の教育的ニーズの変化に応じた適切な教育を行うためには、就学時のみならず就学後も引き続き、保護者との(①)相談を行う必要がある。ただし、継続的に(①)相談を行うことが、保護者によっては精神的あるいは生活上の負担と受け止められる場合もあることから、これらの相談は、保護者を(②)ためのものではなく、子供の成長を確認し、喜び合うものであるという認識が共有されるように努める必要がある。

ア (①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 個別	2 生活	3 教育	4 訪問
----	------	------	------	------

イ (②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 激励する	2 説得する	3 否定する	4 指導する
----	--------	--------	--------	--------

5 以下の(1)～(3)の各問いに答えよ。[各1点]

(1) 次の文は、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」(平成12年)の条文である。下の問いに答えよ。

第2条 この法律において、人権教育とは、人権尊重の(①)の涵養を目的とする教育活動をいい、人権啓発とは、国民の間に人権尊重の理念を普及させ、及びそれに対する国民の理解を深めることを目的とする広報その他の啓発活動(人権教育を除く。)をいう。

(①)に入る適切な語句を答えよ。

(2) 次の文は、「山口県人権推進指針」(平成24年)の一部である。下のア、イの問いに答えよ。

ア 学校における取組
児童生徒の(①)に即し、学校の教育活動を通して人権尊重の意識を高め、一人ひとりを大切にする教育を組織的・計画的に推進します。
① 実効性のある校内推進体制や全体計画等の整備・充実及び学校と関係機関との連携を推進します。
② 児童生徒の自主的な取組を充実させるため、学校の課題や児童生徒の興味・関心を踏まえ、教職員の多様な研修機会を設定するとともに、指導資料の整備・充実に努めます。
③ 幼児・児童生徒が安心して、楽しく学ぶことのできる学習環境づくりや、互いの意見を尊重し協力して前向きに課題解決を図ろうとする(②)を推進します。

ア (①)に入る語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 日常生活	2 心身の発達の段階	3 学習の状況	4 心身の成長の過程
----	--------	------------	---------	------------

イ (②)に入る語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 授業づくり	2 学級づくり	3 集団づくり	4 活動づくり
----	---------	---------	---------	---------

(3) 次の文は、「児童の虐待の防止等に関する法律」(平成12年)の条文である。下のア、イの各問いに答えよ。

第2条 この法律において、「児童虐待」とは、(①) (親権を行う者、未成年後見人その他の者で、児童を現に監護するものをいう。以下同じ。)がその監護する児童(十八歳に満たない者をいう。以下同じ。)について行う次に掲げる行為をいう。

1 児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。

2 児童にわいせつな行為をすること又は児童をしてわいせつな行為をさせること。

3 児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置、(①)以外の同居人による前二号又は次号に掲げる行為と同様の行為の放置その他の(①)としての監護を著しく怠ること。

4 児童に対する著しい暴言又は著しく(②)な対応、児童が同居する家庭における配偶者に対する暴力(配偶者(婚姻の届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。)の身体に対する不法な攻撃であって生命又は身体に危害を及ぼすもの及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす言動をいう。)その他の児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

ア (①)に入る適切な語句を答えよ。

イ (②)に入る語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 放任的	2 拒絶的	3 高圧的	4 支配的
----	-------	-------	-------	-------

6 以下の(1)、(2)の各問いに答えよ。〔(1)ウエ各2点、その他各1点〕

(1) 次の文は、「山口県教育振興基本計画」(2023年度～2027年度)の一部である。ア～カの各問いに答えよ。

教育目標の達成に向けて、子どもたちに「3つの力」と「3つの心」を育成します。

○ 学ぶ力「これからの社会において求められる、幅広い知識と柔軟な(①)に基づく判断を可能にする、生涯を通じて主体的に学び続ける力」

○ 創る力「将来の予測が困難な中、よりよい未来に向かって新たな(②)を創り出す力」

○ (③)「自己を肯定し、社会の中で役割を果たす責任感や勤勉な態度を有し、多様な他者と連携・協働しながら、様々な困難を乗り越えていく行動力」

○ (④)「互いの人格や価値観を受け入れ、尊重するとともに、互いに理解し協力し合う、前向きで(④)」

○ 温かい心「人間に対する深い愛情や自然・生命に対する(⑤)の念などを基盤とした、豊かで温かい心」

○ 燃える心「大いなる夢や高い理想をもち、その実現をめざす、(⑥)の意志や勇氣など、熱く燃える心」

ア (①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 表現力	2 発想力	3 思考力	4 コミュニケーション能力
----	-------	-------	-------	---------------

イ (②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 価値	2 理念	3 知恵	4 創造
----	------	------	------	------

ウ (③)に入る適切な語句を答えよ。

エ (④)に入る適切な語句を答えよ。

オ (⑤)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 尊重	2 畏怖	3 愛情	4 畏敬
----	------	------	------	------

カ (⑥)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 屈強	2 不撓不屈	3 初志貫徹	4 不動
----	------	--------	--------	------

(2) 次の文は、国際連合広報センター「SDGs 17の目標ごとの説明、事実と数字」の「4 質の高い教育をみんなに」の「事実と数字」の記述の一部である。ア、イの各問いに答えよ。

・開発途上国の(①)就学率は91%に達しましたが、まだ5,700万人の子どもが学校に通えていません。

・学校に通えていない子どもの半数以上は、サハラ以南アフリカで暮らしています。

・小学校就学年齢で学校に通っていない子どものおよそ50%は、紛争地域に住んでいるものと見られます。

・全世界で6億1,700万人の若者が、基本的な算術と(②)の能力を欠いています。

ア (①)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 義務教育	2 中等教育	3 公教育	4 初等教育
----	--------	--------	-------	--------

イ (②)に入る適切な語句を次の語群から選び、記号で答えよ。

語群	1 読解	2 読み書き	3 対話	4 記述
----	------	--------	------	------

校種		教科		番号		氏名	
----	--	----	--	----	--	----	--

○

○

○

○

令和7年度教員採用候補者選考試験解答用紙	教職専門	得点	50点
----------------------	------	----	-----

1

(1)	ア	人格	イ	3	ウ	出席簿	エ	1
(2)	ア	2	イ	4	ウ	3	エ	4

2

(1)	コメニウス	(2)	4	(3)	ア	3	イ	2
(4)	ア	3	イ	2	ウ	4	(5)	マズロー

3

(1)	ア	自己決定	イ	主体的・対話的で深い学び					
(2)	ア	3	イ	2	(3)	ア	4	イ	2
(4)	ア	3	イ	4					

4

(1)	3	(2)	ア	1	イ	4
(3)	ア	3	イ	2		

5

(1)	精神	(2)	ア	4	イ	3
(3)	ア	保護者	イ	2		

6

(1)	ア	3	イ	1	ウ	生き抜く力	エ	広い心
	オ	4	カ	2				
(2)	ア	4	イ	2				